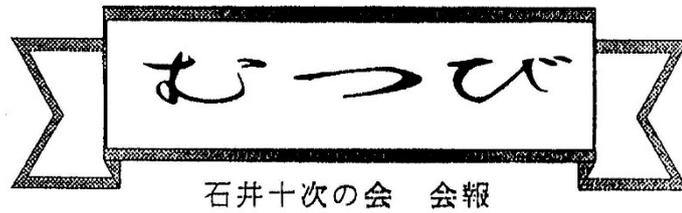


2021年
(令和3年)
8月12日



287号

私の世界人権宣言

社会福祉法人鳥取こども学園
理事長・統括施設長 藤野 興一

ヤコブ 2-15~17 行いを欠く信仰は死んだもの

「15着る物もなく、その日の食べ物にも事欠いているとき、16あなたがたのだれかが、彼らに、『安心して行きなさい。暖まりなさい。満腹するまで食べなさい。』と言うだけで、からだに必要な物を何一つ与えないなら、何の役に立つでしょう。17信仰もこれと同じです。行ないが伴わないなら、信仰はそれだけでは、死んだものです。」

はじめに

2021(令和3)年は世界人権宣言制定から73年、子どもの権利条約採択32年、日本国批准27年に当たります。この一文は2009(平成12)年9月に「鳥取市人権文化センター」の「架橋」編集部から「私の世界人権宣言」という素敵なテーマをいただいたものを短く書き直し、加筆したものです。

- ① 私は1941(昭和16)年、鳥取こども学園(以下「学園」)の前身である鳥取育児院の中で生まれ、学園の子どもたちと一緒に育てられました。学園は1906(明治39)年、キリストの愛の精神で創設され、学園に来る子どもたちは、いつの時代でも社会のひずみの中、差別や偏見や様々な人権侵害によって、小さな体に背負いきれない程の重荷を背負って施設にやってきました。
- ② 学園の子どもは、私の父母のことをお父さんお母さんと呼んでいました。私だけにいつも身近に親がいるということは不便でなりません。「親がいなければどんなに幸せだろう」と思ったことはしばしばです。その私が高校に進学した時、11人の就職していった仲間に申し訳ないと思いました。高校に行けたのは私も含めて親のいる3人だけだったからです。
- ③ 親がいたお蔭で高校に行き、1960(昭和35)年安保闘争の最中に同志社大学に入学し、いつの間にか同志社大学学友会(全学自治会)委員長になっていました。高校時代から教会に通い、同志社でもマルクスレーニンを語りながら教会に通いました。1970(昭和45)年安保闘争後、賀川豊彦に憧れて、横浜寿町で炊き出しをし、「仕事よこせ闘争」を組織し、「寿日雇い労働者組合」の結成に加わりました。これらを支えてきたものは、鳥取こども学園でのキリスト教社会事業精神と学園の子どもたちの仲間になろうとして仲間になれなかった異邦人の様な経験でした。
- ④ 1976(昭和51)年12月、生まれ育った学園の児童指導員として働くこととなりました。
 1. 最初に取り組んだのは「高校全入と18歳までの養護保障」の取り組みでした。学園では今、高校進学は当たり前で、大学進学、海外留学まで実現しています。
 2. 1979(昭和54)年2月、1歳から学園で育ったMさんが、豪雪の中OBたちの必死の捜索にもかかわらず18歳の命を絶ち、翌年の1980年12月にも、やはり1歳から学園で育ったK君が大阪のアパートで20歳の誕生日に自ら命を絶つことができました。涙の尽きない夜を明かした中で、誰でもいつでも帰れるOB、OGの家を作ろうと自立援助ホーム鳥取フレンドが生まれました。今では、自立援助ホームは全国に123ホーム486人の青年が暮らしています。20歳まで入所が可能で22~24歳まで延長が可能となっています。
 3. 1984(昭和59)年、幼児ホームを解体して幼児を縦割りホームへ分散し、「幼児の集団養護はやめよう」という運動を開始しました。
 4. 施設で暮らす子どもたちの無権利状態を改善するため、先ず当事者の声を聴こうと、1988(昭和63)年鳥取で「第一回全国養護施設高校生交流会」を開催しました。1998(平成10)年第10回気仙沼大会まで非

公式鳥取フォーラムも含めて計11回、参加高校生1311名、アシスタント職員599名、計1910名が参加し、現在の当事者運動に繋がっています。

5. 「不登校」が社会問題化し、児童養護施設が使われるようになり、そのありようが問われました。

「戸塚ヨットスクール」や「風の子学園」の悲劇もあり、1994(平成6)年、精神科医やセラピスト等専門スタッフを擁した情緒障害児短期治療施設(現、児童心理治療施設)鳥取こども学園希望館を併設しました。

6. 1999(平成11)年、希望館外来相談部門を中心に「児童家庭支援センター」としての認可を受け、そこで「NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取」「子育てSOSネットワーク」の事務局も引き受けることとしました。

7. 更に2006(平成18)年、鳥取こども学園創立百周年記念事業として、母子愛着トレーニングセンターとしての役割を持った新たなタイプの乳児院(定員15)を開設しました。

⑤ この度、鳥取こども学園が第30回記念石井十次賞受賞の栄にあずかり、社会的養護に係るソーシャルワーカーのノーベル賞のようなものであり、喜びに堪えません。前回29回が黒柳徹子さん、第28回が安部志郎先生、第27回が福島一雄先生……第1回が北海道家庭学校の谷昌恒先生、第2回が田村一二先生、第3回が松島正義先生など私の尊敬する大先輩に連ねていただき気はずかしいですが、創立116年目を迎える鳥取こども学園の歩みと歴代の職員、子どもたち、支援くださった本当に多くの方々への賜物と思い、神様に感謝しつつ喜んでお受けすることとしました。

⑥ コロナが世界中で猛威をふるい、地球温暖化、海水汚染などの環境問題が地球規模で進行し、巨大な災害も頻発しています。ミャンマーなど軍事クーデターと軍による無差別殺戮やモンゴルの「ウイグル族」への人権侵害事件、香港への徹底弾圧にも見られるような深刻な人権侵害事件も多発しています。子どもや若者たちが命がけで闘い、殺され続けているのです。

日本では、『^{みあ}京都アニメーション 放火殺人事件』のような誰でもよかった殺傷人事件が繰り返され、結愛ちゃん事件や心愛ちゃん事件の様な悲惨な虐待死事件も全国各地で量、質ともにエスカレートしています。

⑦ 私たちは地の塩、世の光でありたいと思います。人類は百年毎に新型感染症との死闘を余儀なくされ、人々の生活や政治文化の枠組みを変えながら進歩してきました。このような時だからこそ私たちの祈りの業が求められているのです。

主の愛の業に導かれ、今一度原点に帰り、神様から与えられたこの地球を守り、悲惨な戦争を二度と起こさないで暴力の連鎖を断ち切り、人間の尊厳を守り抜くために歩み続けたいと願い、祈ります。

⑧ 1879(明治13)年、同志社英学校第一回卒業生加藤勇次郎たちによる鳥取伝導^{つなしま かきち}以来、綱島^{かなもりつうりん}佳吉たちや0・ケリー宣教師、鳥取県選出衆議院議員石破茂さんのひいおじいさんに当たる金森通倫や女性宣教師タルタット女史^{かじろともよし}、上代知新牧師等が相次いでアメリカンボードから鳥取に派遣され、1887(明治20)鳥取英和女学校を設立しています。石井十次の岡山孤児院と鳥取育児院とは共にアメリカンボードから支援を受けた兄弟のような関係であったのです。

⑨ 石井十次、山室軍平、留岡幸助、などのキリスト教社会事業の先駆的实践家は、その時々^{その時々}の社会情勢のもとでバランスのとれた、ゆるぎない信仰に基づいた精神、理念に基づいて、歴史の希望実現へ向けて、実に創造的で目の前にいる生身の人々と共に歩まれた方々です。緒方貞子や中村哲、石井十次たちに共通するのは、「信仰と高い精神性・聖霊に基づいた現場主義」とでもいふべきものであり、正義と平和のために民衆と共に歩む実践にあります。

⑩ 2017(平成29)年 塩崎恭久厚労大臣退任前日、厚労省担当者や施設現場を抜きにして、一部学者たちの意見により作られた「新しい社会的養育ビジョン(新ビジョン)」なるものが出されました。これは、④で述べた現場実践の積み上げの上に 39年振りの施設最低基準改定を含む「子どもの人権を守る様々な仕組みや実績」を反故にしようとするものであり、当事者抜きの政策の典型です。

事件は会議室や役所のデスクで起きてるものではありません。まさに泣いたり笑ったり、生活している生身の子どもの職員やその保護者、それを必死で支えている支援者、障がい者などの当事者のいる現場で起きています。一番問題なのは、当事者の意見を汲みとる仕組みもなく、無視され続け、さらにひどい人権侵害が起り続けていることなのです

7. 政一郎が大学を了え倉敷紡績に就職、正一は住友を退社し湯風呂に帰る

政一郎は岡山の高高に合格した。政一郎は六高に通いながら十次の岡山孤児院の経営を手伝った。明治40年、政一郎は東京帝大を了え、大原孫三郎の倉敷紡績株式会社に入社し孫三郎の秘書になった。正一は学資の仕送りが不要になったので、高給の住友を未練もなく退社し湯風呂に帰った。正一は早魃にそなえ溜池を作った。溜池の建設に住友勤務で貯金した700円をあてた。そのころ湯風呂の開拓は宮崎県の注目するところとなり、宮崎県知事高岡直吉が視察に訪れた。2月には石井十次夫妻もやってきた。6月には溜池が完成し、石井万吉、岩村真鉄らを招いて完成祝いをした。正一はこの年、湯風呂の農民に禁酒令を出した。「幼者厳禁、壮者節酒、老人は勝手」 苦勞をかさねた老人をいたわる禁酒令だった。



8. 政一郎、十次の意をうけ貧民街に愛染園をひらく

政一郎は大原の秘書であると同時に十次の秘書役もつとめた。十次の内命を受けて大阪市の貧民街の愛染橋近くに夜間学校と託児所を開設することになった。かつてペストが流行した時の発生場所であったという下駄工場跡を借り受け、政一郎は南京虫に悩まされながら泊まり込みで突貫工事を行った。そんなところに寝泊りする政一郎を、警察は「アカにちがいない」と内偵をはじめた。十次の福祉事業はまったく理解されない時代であった。愛染園と名付けた夜間学校・託児所は学校に通えない子供たちや、働く母親たちから大歓迎を受けた。

大原は十次の事業を見て、社会問題を科学的に探究する機関が必要であることを痛感し、大正8年に大原社会問題研究所を設立した。評議員になった政一郎は孫三郎と共に人事に奔走し、所長に東大教授の高野岩三郎、評議員に川上肇、長谷川如是閑、大内兵衛、森戸辰雄、笠信太郎など一流の専門家を選んだ。大原研究所は社会問題研究のシンクタンクとして日本有数の存在となった。



9. 政一郎、衆議院議員に当選するも1期で辞任

若き日の政一郎・十次・孫三郎 (左から)

大正9年5月、37歳になった政一郎は衆議院議員選挙に政友会公認候補として宮崎1区から立候補して当選した。しかし議員になってみると、政友会の空気は閉鎖的で、当選回数による階級制が幅をきかせており、一年生議員の発言は採用されなかった。政一郎は長居する場所でないことを悟り1期4年で辞めた。

10. 政一郎、高鍋で「茶業」を開始する

昭和元年8月、十次なきあとの岡山孤児院が解散した。政一郎は孫三郎と清算人となり後見役を引き受けた。昭和6年、茶臼原には百田孟一が残り、「石井記念協会」を設立し、残留孤児を抱えて奮闘。茶臼原の桑園を県の指導で茶園に変え、努力のすえ生産を軌道に乗せたが販路の開拓ができず、赤字がかさみ苦境に瀕した。彼は岡山に政一郎を訪ね、代って茶園を経営するよう懇請した。政一郎は直ちに茶臼原に赴いて視察し、高鍋で茶園の経営に携わることを決断した。翌年に生産工場を高鍋町萩原に建設し、「柿原茶舗」の看板を掲げた。海外進出も試み新しい釜炒り茶を開発した。戦後は商号を「九州茶業株式会社」(九茶)に改める。(次号に続く) 編集委員 石川正樹

《 お し ら せ 》

★新会員のご紹介（敬称略）

【東京都】坂下 眞一郎

【新富町】小川薫・小川誠

★ご寄付をいただきました（敬称略）

（一般）

【宮崎市】皆内 康広 松浦 淳

（奨学金基金へ）

【宮崎市】香月 保基

【都城市】津曲 利幸

★6/21～7/20の資料館来館者

団体・グループ 75人

個人 31人

計106人

ここまでの掲載者は編集委員会開催の都合により7月20日までのものとしています。

★9月号の通信発送作業

9月 9日（木）9時から印刷・製本

10日（金）9時から印刷・製本

★今年も石井十次セミナーは中止となりました。来年こそは皆様にお会いできることを願っております。

この会報は、宮崎県を中心に全国1700余の個人・団体に毎月送付しています。

社会福祉法人 石井記念友愛社

☎ 884-0102

宮崎県児湯郡木城町大字椎木 644-1
後援会「石井十次の会」

TEL/FAX 0983-32-4612

メール

yuuaisya-jyuujinokai@kijo.jp

●本年度も給付型の奨学生 2名に決定

給付型の奨学生2名が7月3日の選考委員会において決定しました。

この制度も4年目になります。

卒園生を対象に就学を容易にし学業を継続終了させることを目的としています。

月額2万円です。

受給資格に学力優秀・品行方正は掲げておりますが就職には縛りはありません。

本年度の対象者は9名。卒園生の大学等進学率はここ数年で51%と高まっています。

学力が高く志のしっかりとした卒園生に成長しているからこそ。

これすべて、友愛園等の日々の真摯な取組の成果でもあります。

対象者が9名存在しながら児嶋理事長からは2名の推薦。

基金との兼ね合いからの控えめな推薦にとの遠慮も働いている。

●奨学金基金の安定化に向けての協力に感謝・・・そして今後も

奨学金基金が安定してくればと選考委員長も務めている竹之下は強く願います。

ありがたいことに、基金寄付の報告が「むつび」通信6月号43件・7月号6件もありました。

奨学生を増やすことは、育てる「友愛園」と支える「十次の会」とが車の両輪となって進むこと。

会員の継続的な協力に感謝すると共に引き続きよろしくお願ひします。

★編集後記

「むつび」巻頭は本年度「石井十次賞」受賞の鳥取こども学園理事長の藤野興一氏から玉稿をいただきました。ありがとうございました。

※文責 竹之下